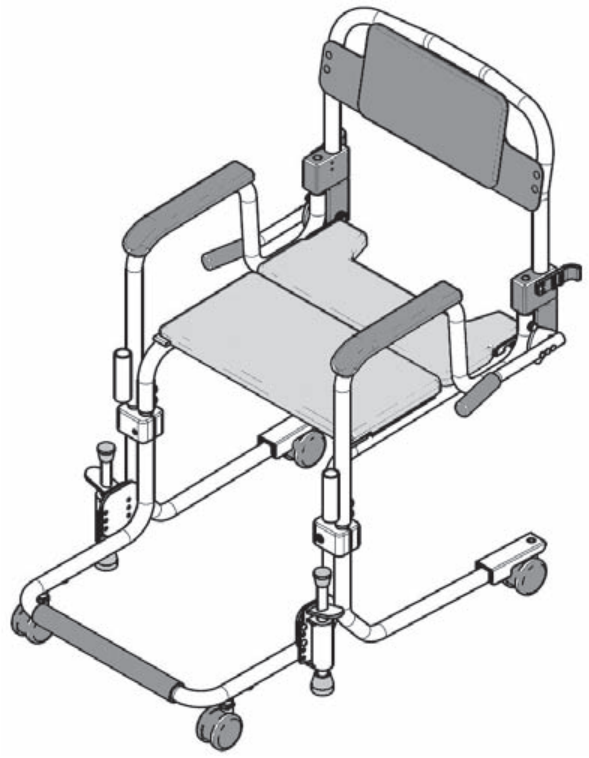
イデアグループ

らくらく移乗器

乗助（のりすけ）さん

取扱説明書



このたびは、イデアライフケア製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

●この取扱説明書はお読みになったあとも、いつでも読み返せるように、大切に保管してください。

イデアライフケア

もくじ

1. 製品が届いたら …… 2
お使いになる前に …… 2
　梱包品の確認 …… 2
製品の組立 …… 2
　梱包材の廃棄について …… 2

2. 安全上のご注意 …… 3

3. 各部の名称 …… 6
乗助さん 正面 …… 6
乗助さん 背面 …… 6

4. 使い方 …… 7
高さ調整 …… 7
　ハンドルレバー …… 8
　ストッパー …… 8
　前フレーム（足置き） …… 8
ベッド（トイレ）から乗助さんに移乗するとき …… 9
乗助さんからトイレ（ベッド）に移乗するとき …… 11
乗助さんから車いす・ポータブルトイレに
　移乗するとき（ワイドタイプ） …… 13
乗助さんの移動 …… 15
　日常点検 …… 16

5. お手入れのしかた …… 17
お手入れ方法 …… 17
整備点検カルテ …… 18
　点検実施の年月日および点検整備の記録 …… 18

6. 故障かな?と思ったら …… 19

7. 仕様 …… 20

8. 保証とアフターサービス …… 21
保証の概要 …… 21

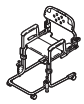
1. 製品が届いたら

お使いになる前に

●この製品は、歩行が困難でベッドからトイレ等に移動したい方のための【移乗器】です。一般的な車いすではございませんので、使用目的以外に使用しないでください。
●本製品から車いすへの移乗、車いすから本製品へ移乗する場合は『乗助さんワイドタイプ』をご使用ください。

梱包品の確認

製品が入っている箱をあけたら、製品の損傷・付属品の有無をお確かめください。
万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店、またはイデアライフケアにお問い合わせください。(**「8. 保証とアフターサービス」**(P.21)**参照**)

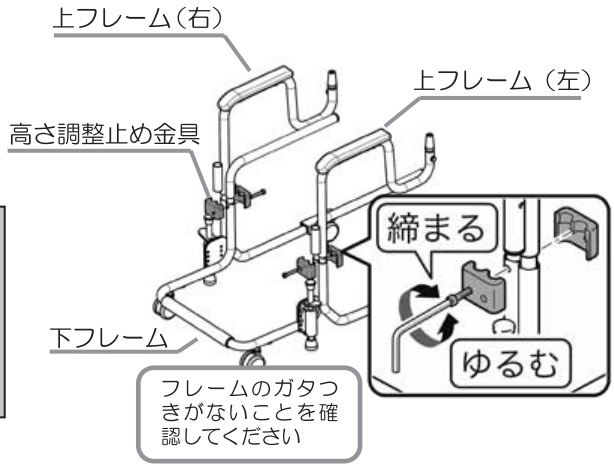
名称	略図	数量	内容・備考	確認
【乗助さん】本体 座面ユニット 下フレーム 上フレーム(左)・(右)		1	キズ・損傷がないことをお確かめください	□
六角レンチ(対辺 6mm)		1	座面の高さ調整に使用します	□
保証書(はがきサイズ)		1	製品の保証書です	□
取扱説明書(本書)		1	ご使用前によくお読みください	☑

製品の組立

1 下フレームと上フレーム(左)(右)を高さ調整止め金具で組立(固定)します。

⚠ 注 意

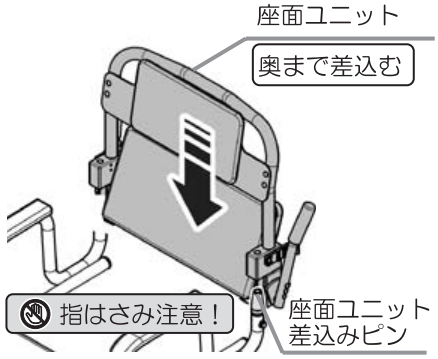
●高さ調整止め金具のネジ止め方向に注意してください。(付属の六角レンチを使用します。)
●左右のフレームが、同じ高さになっていることを確認してください。



2 座面ユニットを、座面ユニット差込みピンに、奥までしっかりと差込みます。

🕮 ヒント

●各部のネジやキャスターに、ゆるみや脱落がないことをご確認ください。
●手で押して、乗助さんがスムーズに移動することを確認します。



梱包材の廃棄について

●梱包材の廃棄は、地域の条例に従って処分してください。

2. 安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、お客様や他の方への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですので、必ずお守りください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、損害を負う可能性が想定される内容および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

⚠ 警告

取扱いを誤ると、重大な事故につながるおそれがあります。このような使いかたは絶対にしないでください。

禁止	**小さなお子様による使用・操作は、絶対にしないでください。** ケガをするおそれがあり、大変危険です。
	スロープや坂道でのご使用は、絶対にしないでください。 この製品にはハンドブレーキがありませんので、大変危険です。
	日本国外へ持ち出してのご使用は、絶対にしないでください。 日本国外での使用は想定しておりませんので、大変危険です。
ケガに注意	**座面など、ハンドルレバー以外の部分を持って操作しないでください。** 手や指を挟むおそれがあり、大変危険です。
	座面以外の部分に座ったり、座面に立ち上がったりしないでください。 転倒、破損のおそれがあり、大変危険です。
	乗り降りの際は、前フレーム（足置き）に足を乗せないでください。 前フレームの上に立つと、製品ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。
	製品を火気に近づけたり、高温になる場所などに放置しないでください。 変形・火災のおそれがあるだけでなく、熱くなった金属部でヤケドをするおそれがあります。
分解禁止	**加工・改造は絶対に行なわないでください。** 故障や事故の原因となるおそれがあり、大変危険です。

2. 安全上のご注意

⚠ 警告

厳守	**片マヒ、認知症が進んでいる方は、医師やリハビリ専門家に十分ご相談のうえ使用してください。**
	ご使用の際は、必ず介助者が付き添って補助をしてください。 転倒などの事故防止のため、常に使用者の姿勢や状態にご留意ください。
	使用者が身体を乗り出したり、無理な体重移動をしないよう、十分に注意を払ってください。 バランスを崩して、製品ごと転倒するおそれがあります。
	介助者が本製品を離れる際は、必ずストッパーをロックしてください。 製品が不意に動き出し、転倒や転落の危険があります。
	段差のある場所でのご使用はおやめください。 バランスを崩して、製品ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。
	エレベーターを利用する際は、本製品を溝に対して直角にして走行してください。 斜めの角度で進入すると、キャスターが溝にはまって、大変危険です。

⚠ 注意

取扱いを誤ると、障害を負ったり故障の原因となるおそれがあります。ご使用の際には、十分ご注意ください。

禁止	**部品の欠落、溶接外れ、溶接割れの異常を発見したら、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または当社へご相談ください。**
	ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。 使用前に点検し、発見したらすぐに締め直してください。
	臀部に褥瘡（じょくそう：床ずれ）のある使用者へのご使用はおやめください。 また、長時間座り続けるご使用はおやめください。
	この製品は１人乗り用です。絶対に２人以上で乗らないでください。 介助する場合であっても、一緒に乗らないでください。転倒、破損のおそれがあります。
	本製品の最大使用者体重は 100kg です。それ以上の方のご使用はおやめください。 また、お子様を抱いた状態など、２人以上でのご使用はおやめください。
	この製品は、屋内（バリアフリー環境）用です。 屋外での使用は想定されておりません。屋外でのご使用はおやめください。
	ワイドタイプ以外の乗助さんから車いすへの移乗、車いすからの移乗はおやめください。 転倒してケガをするおそれがあります。

2.（つづき）

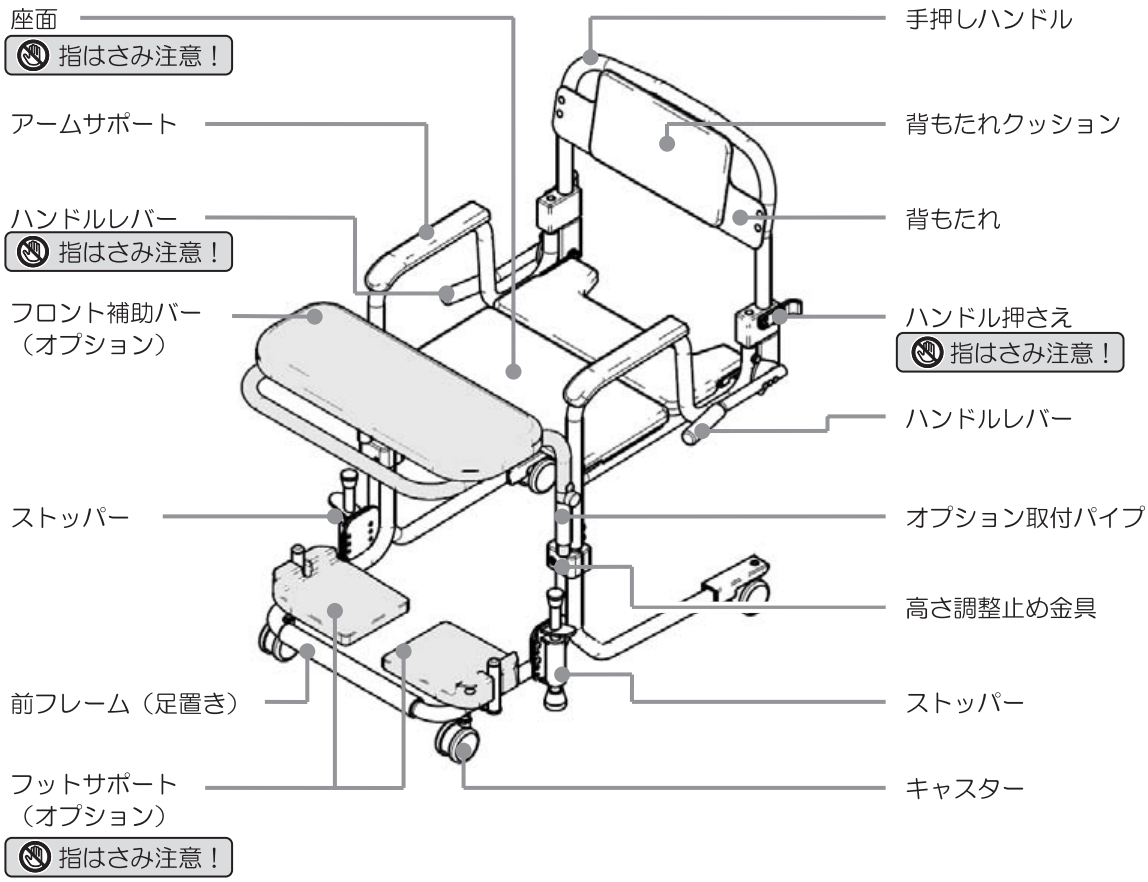
⚠ 注意	
ケガに注意	**本製品に乗っているときは、必ずアームサポート（肘掛け）を使用してください。** 思わぬケガをするおそれがあります。
	ハンドルレバー（座面）を上下させる際、可動部に手や衣服を挟まないように十分注意してください。
	座るときは、深く腰かけてください。 浅く腰かけると、座面からすべり落ちたり、転倒してケガをするおそれがあります。
	乗り降りや着座の際、ハンドルレバーに体重をかけないようにしてください。 バランスを崩して転倒するおそれがあります。
	立ち座りは、ゆっくりと行なってください。 勢いよく座ったりすると、バランスを崩して転倒するおそれがあります。
	座面ユニットの手押しハンドルに、重いものをかけないでください。 バランスを崩して転倒するおそれがあります。
水ぬれ禁止	**お風呂用の製品ではありません。** 入浴補助用具としてのご使用はおやめください。 また、本製品は防水加工されておりませんので、水かけ洗浄はしないでください。 （**「5．お手入れのしかた」**（P.17）参照）
厳守	**使用者が乗ったままの状態で、製品を持ち上げて運ばないでください。** 思わぬケガや、破損のおそれがあります。
	本製品を単体で持ち上げる場合は、フレーム部を両手でつかみ、２人以上で持ち上げてください。 その際、脱落事故防止のため、座面ユニットは必ず外してください。
	移乗器以外の用途に使用しないでください。 歩行補助器具としての使用、荷物の運搬など台車としての使用はおやめください。

ヒント

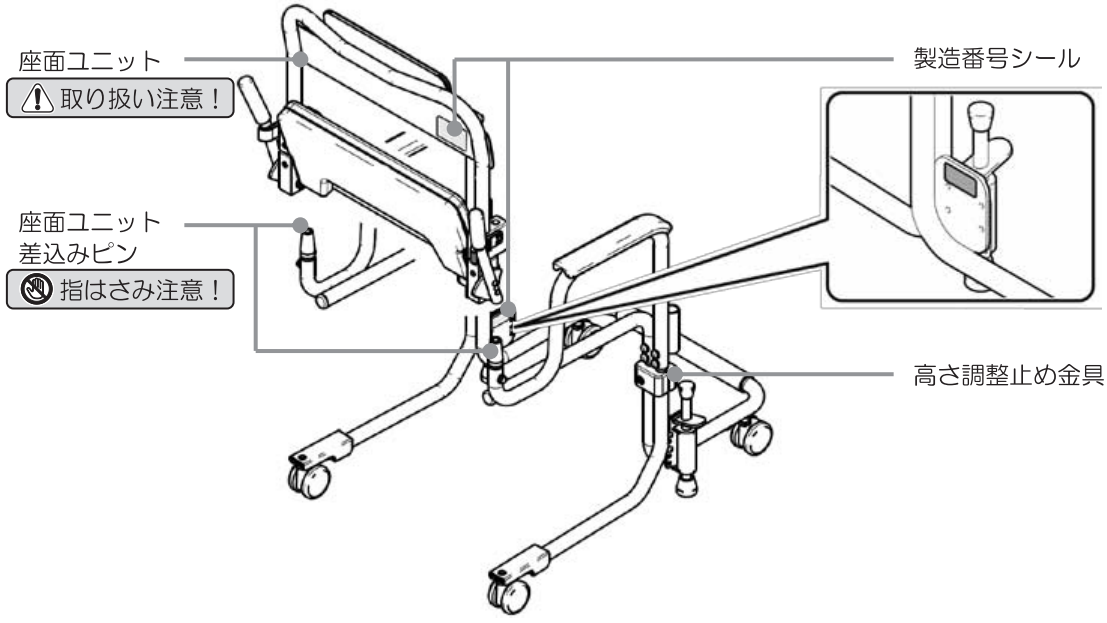
●この【ヒント欄】には、知っておくと便利なことを記載しています。

3. 各部の名称

乗助さん 正面



乗助さん 背面

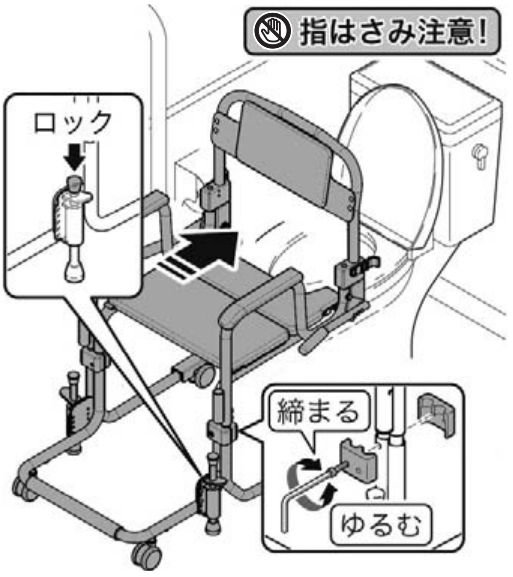


4. 使いかた

高さ調整

お使いのトイレに合わせて、乗助さんの高さを調節します。

1 トイレに乗助さんをセットします。

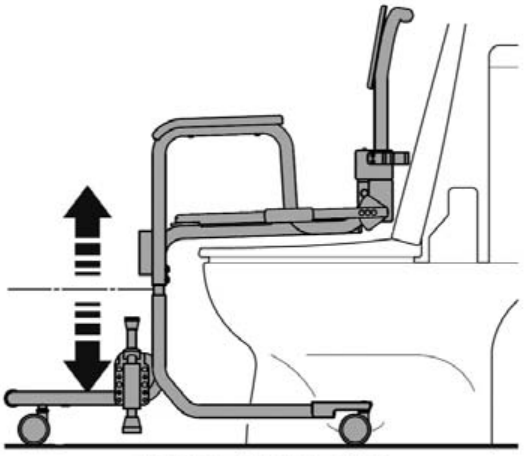


ヒント

●ストッパーをロックすると、乗助さんが固定されて作業がしやすくなります。

2 六角レンチ（付属品）で、左右の高さ調整止め金具を外します。

3 便座の高さを基準に、乗助さんの座面高さを調整します。



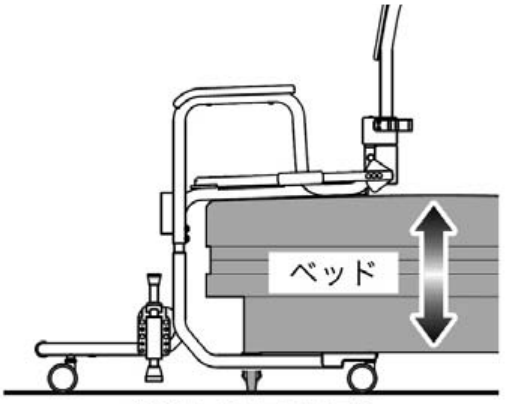
【横から見た図】

ヒント

●高さ調節は、左右同じ穴位置（調整間隔は５段階）にし、ボルトは確実に締付けてください。（推奨トルク：12.5N・m）

●実際の使用時は、使用者の体重で座面が沈みますので、若干ゆとりを持って調整してください。

4 乗助さんの座面高さに合わせて、ベッドの高さを調整します。



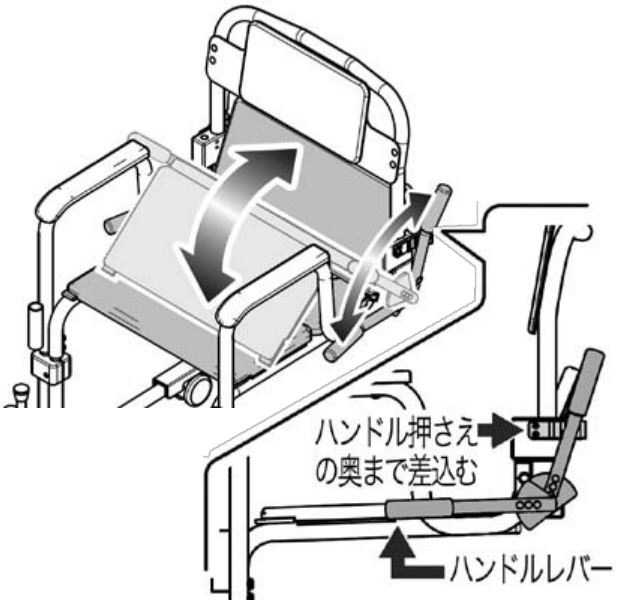
【横から見た図】

⚠ 注 意

●左右のフレームが、同じ高さになっていることを確認してください。

ハンドルレバー

ハンドルレバーで、座面を上げ下げします。



ヒント

●ハンドルレバーの操作は、ハンドル押さえの奥に当たるまで、確実に行なってください。

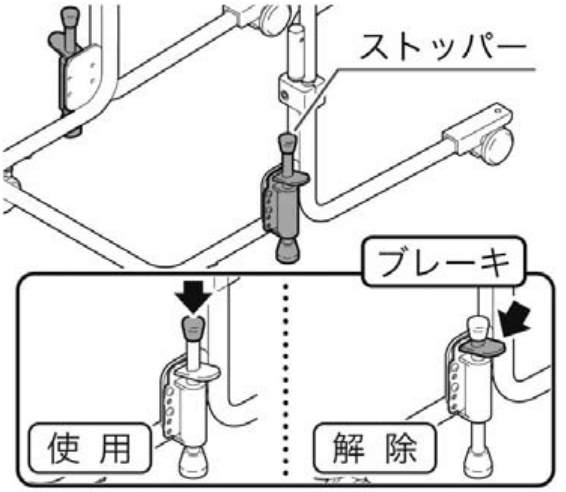
⚠ 注意

●乗り降りや着座の際、ハンドルレバーに体重をかけないようにしてください。

ストッパー

ストッパーは、駐車用のブレーキです。

●ブレーキの使用：ストッパーの上面を踏む
●ブレーキの解除：側面のレバーを踏む

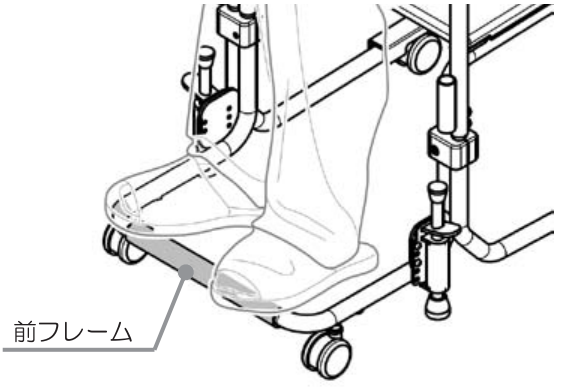


⚠ 警告

●乗助さんへの乗り降りの際は、必ず左右のストッパーをロックしてください。
●介助者が本製品を離れる際は、必ず左右のストッパーをロックしてください。

前フレーム（足置き）

移動する際は、必ず前フレームに足を乗せて座ってください。



⚠ 警告

●前フレームの上に立ち上らないでください。製品ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。

ベッド（トイレ）から乗助さんに移乗するとき

1 ベッド（トイレ）に乗助さんを正面からセットします。

●移乗前に、乗助さんの座面ユニットを取外しておきます。

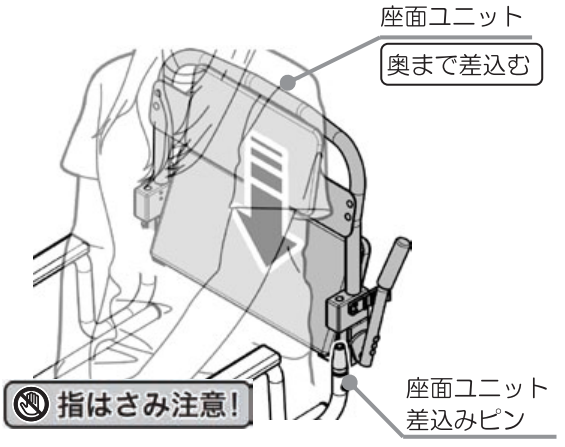
●乗助さんをセットする際、使用者にぶつけないようご注意ください。

2 ストッパーをロックします。

●ストッパーをロックする際は、足でしっかりと踏込みます。

3 座面ユニットを、座面ユニット差込みピンに、奥までしっかりと差込みます。

●ベッドに片足を乗せるなど、取付けやすい体勢で作業してください。



⚠ 注 意

●座面ユニットを取付ける際、指を挟まないようご注意ください。

4 アームサポートや手すり等をしっかりつかんで、わずかに腰を上げます。

⚠ 警 告

●必ず介助者が補助をしてください。

●前フレームの上に立ち上らないでください。製品ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。

ヒント

●オプションのフロント補助バーを使うと立ち上り・腰を上げやすくなります。

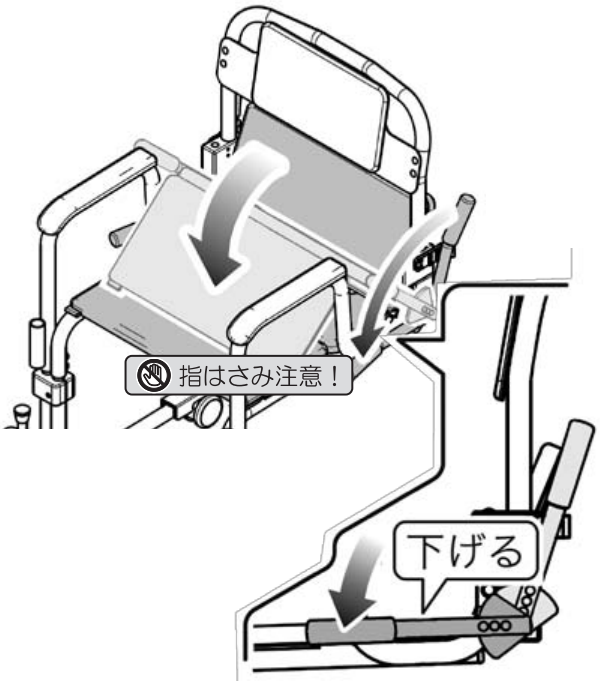
5 ハンドルレバーを下げて座面を出します。

⚠ 警告

●座面など、ハンドルレバー以外の部分を持って操作しないでください。手や指を挟むおそれがあり、大変危険です。

⚠ 注意

●ハンドルレバーとアームサポートの間で、手や指を挟まないよう、十分ご注意ください。
●座面とフレームのすきまで、手や指を挟まないよう、十分ご注意ください。



6 座面の中央に、ゆっくりと腰を下ろします。

⚠ 注意

●着座の際、ハンドルレバーに体重をかけないようにしてください。

7 前フレームに足を乗せます。

ヒント

●足がずり落ちやすい場合は、オプションのフットサポートを使用してください。

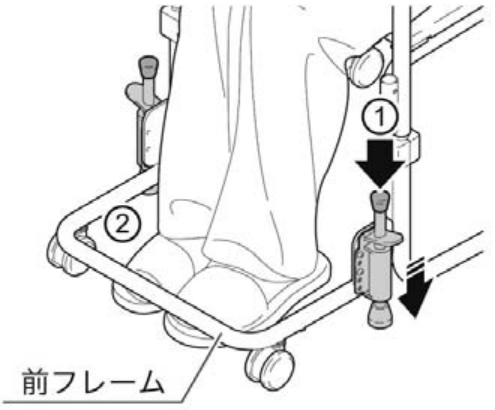
8 ストッパーを解除して、移乗完了です。

乗助さんからトイレ（ベッド）に移乗するとき

1 トイレ（ベッド）に乗助さんを正面からセットします。

2 ストッパーをロックします。

●ストッパーをロックする際は、足でしっかりと踏込みます。



3 足を床に下ろします。

4 アームサポートや手すり等をしっかりつかんで、わずかに腰を上げます。

身支度などで乗助さんから完全に立ち上るときは、手すり等をしっかりとつかんで身体を保持してください。

⚠ 警 告

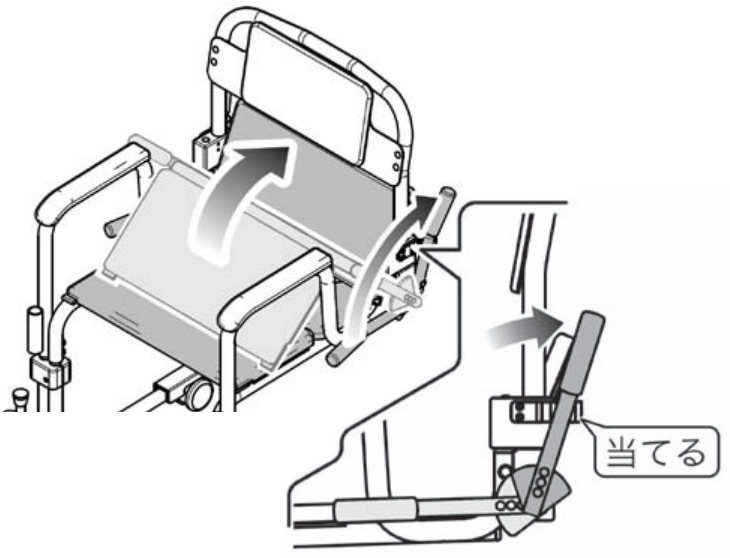
●必ず介助者が補助をしてください。
●前フレームの上に立ち上らないでください。製品ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。

ヒント

●オプションのフロント補助バーを使うと立ち上り・腰を上げやすくなります。

5 ハンドルレバーを上げて座面を上げます。

ハンドルレバーの操作は、ハンドル押さえの奥に当たるまで確実に行なってください。



⚠ 注 意

- ハンドルレバーとアームサポートの間で、手や指を挟まないよう、十分ご注意ください。
- 座面とフレームのすきまで、手や指を挟まないよう、十分ご注意ください。

6 トイレ（ベッド）に、ゆっくりと腰を下ろします。

トイレ（ベッド）から乗助さんを移動させる場合は【手順7】へ進んでください。

ヒント

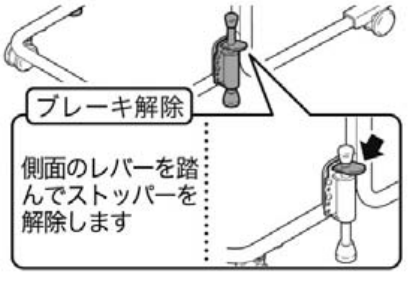
- この状態で排泄できます。排泄後に乗助さんを移動する場合は【手順 8】へ進んでください。

7 座面ユニットを取外します。

⚠ 注 意

- 座面ユニットを、使用者や介助者の足の上におとさないよう、十分ご注意ください。

8 ストッパーを解除して、乗助さんを移動します。



ヒント

- 使用後は、座面ユニットを乗助さんに戻しておきます。

乗助さんから車いす・ポータブルトイレに移乗するとき（ワイドタイプ）

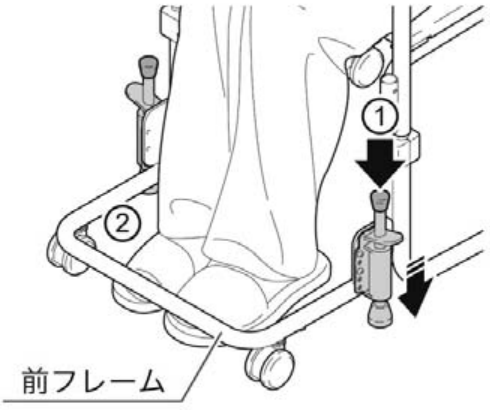
1 車いす・ポータブルトイレに乗助さんを正面からセットします。

⚠ 注意

- ●車いすへの移乗の場合、車いすのブレーキを確実に行なってください。
- ●車いす・ポータブルトイレへの移乗の場合、車いす等の肘掛け・足置きが乗助さんと当たらないようにしてください。
- ●ワイドタイプ以外の乗助さんからの車いす・ポータブルトイレへの移乗はおやめください。

2 ストッパーをロックします。

●ストッパーをロックする際は、足でしっかりと踏込みます。



3 足を床に下ろします。

4 アームサポートや手すり等をしっかりつかんで、わずかに腰を上げます。

身支度などで乗助さんから完全に立ち上るときは、手すり等をしっかりとつかんで身体を保持してください。

⚠ 警告

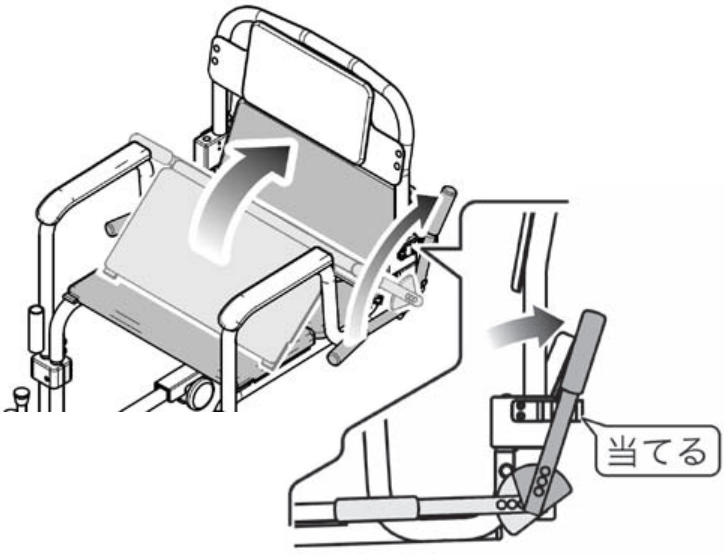
- ●必ず介助者が補助をしてください。
- ●前フレームの上に立ち上らないでください。製品ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。

ヒント

- ●オプションのフロント補助バーを使うと立ち上り・腰を上げやすくなります。

5 ハンドルレバーを上げて座面を上げます。

ハンドルレバーの操作は、ハンドル押さえの奥に当たるまで確実に行なってください。



⚠ 注 意

- ハンドルレバーとアームサポートの間で、手や指を挟まないよう、十分ご注意ください。
- 座面とフレームのすきまで、手や指を挟まないよう、十分ご注意ください。

6 車いす・ポータブルトイレに、ゆっくりと腰を下ろします。

📖 ヒント

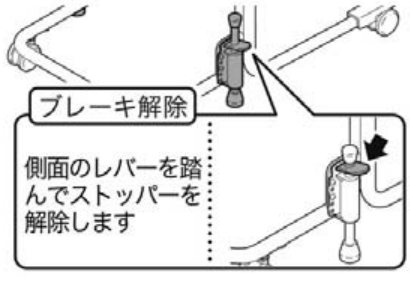
- ポータブルトイレに移乗した場合、この状態で排泄できます。排泄後に乗助さんを移動する場合は【手順 8】へ進んでください。

7 座面ユニットを取外します。

⚠ 注 意

- 座面ユニットを、使用者や介助者の足の上におとさないよう、十分ご注意ください。

8 ストッパーを解除して、乗助さんを引抜きます。



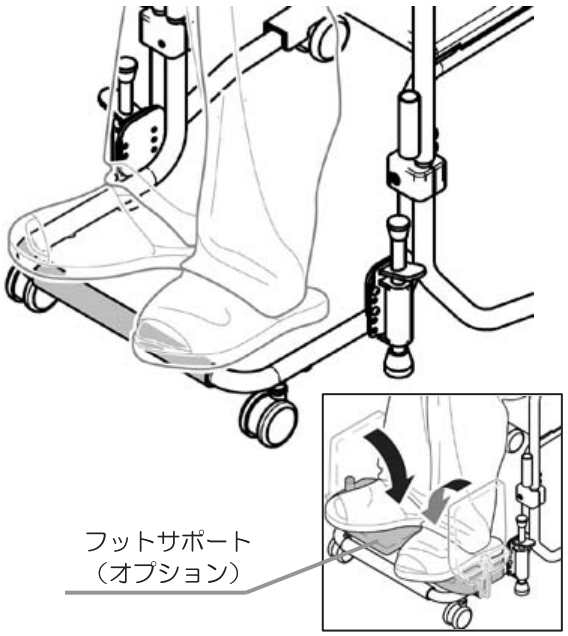
⚠ 注 意

- 乗助さんを引抜く際は、使用者がバランスを崩さないように十分注意してください。

乗助さんの移動

1 前フレームに足を乗せます。

移動する際は、必ず前フレームに足を乗せて座ってください。



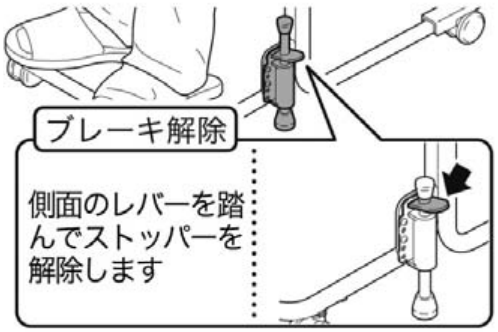
⚠ 注 意

- ●乗助さんに乗っているときは、必ずアームサポートを使用してください。
- ●前フレームに乗ったり、前屈みの姿勢をとらないでください。

ヒント

- ●足がずり落ちやすい場合は、オプションのフットサポートを使用してください。
- ●バランスを崩しやすい使用者はオプションのフロント補助バーを使うと安定します。

2 ストッパーを解除します。



⚠ 警 告

- ●介助者が本製品を離れる際は、必ず左右のストッパーをロックしてください。

3 ハンドルをやさしく押して移動します。

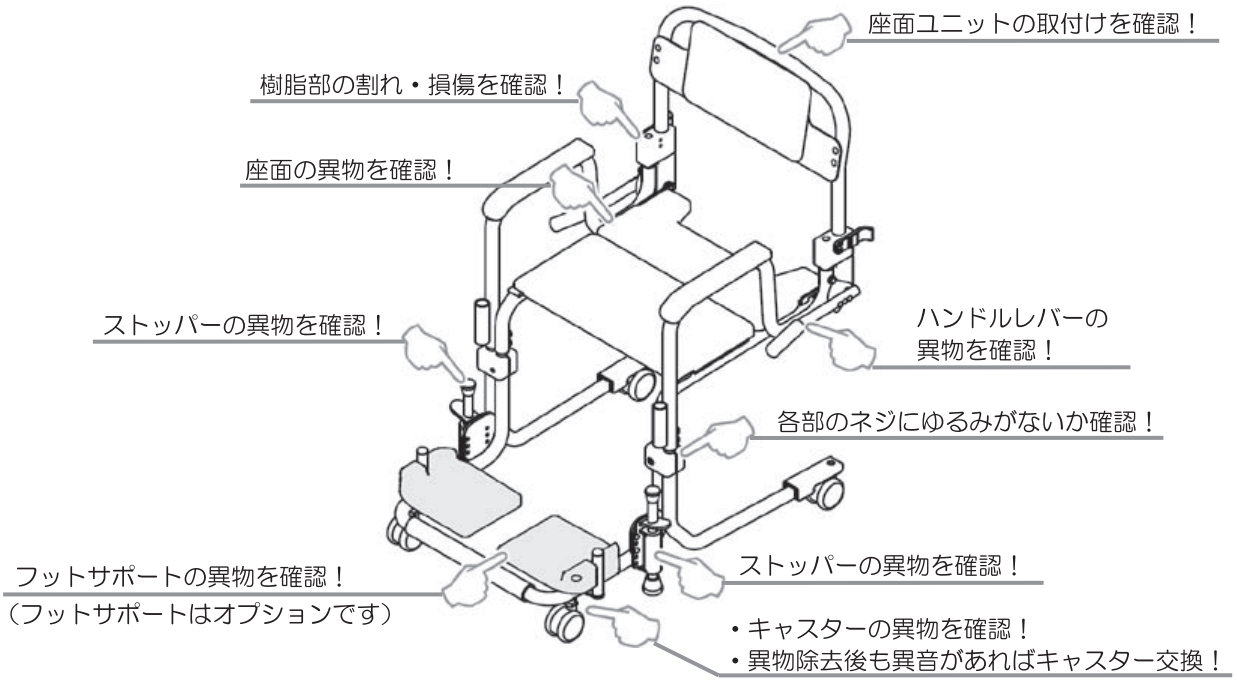
バリアフリー環境の屋内でのみご使用いただけます。
（屋外でのご使用はおやめください。）

⚠ 警 告

- ●スロープや坂道でのご使用は、絶対にしないでください。
- ●前フレームに足を乗せずに、移動・走行しないでください。思わぬ事故につながり大変危険です。
- ●使用者が身体を乗り出したり、無理な体重移動をしないよう、十分に注意を払ってください。

日常点検

いつでも安心して使えるように、日ごろから日常点検を行なってください。



点検する場所	点検項目	点検のポイント
フレーム	ネジのゆるみ・ ガタ・変形・損傷・サビ	●各部のネジにゆるみがないか確認します ●変形／損傷など、外観に異常がないか確認します
ハンドルレバー	作動・異音	●異物の有無・スムーズな作動を確認します
座面	作動・異音・裂傷・よごれ	●異物の有無・スムーズな作動を確認します
アームサポート	ゆるみ・ガタ	●ゆるみ・ガタつきがないか確認します
座面ユニット	ガタ・裂傷・よごれ	●座面ユニットが、スムーズに座面ユニット差込みピンに抜き差しできるか確認します
キャスター	作動・異音	●異物の有無・スムーズな作動を確認します ●異物を取除いても異音がするときは、キャスターを交換します。 お買い求めいただいた販売店、またはイデアライフケアにお問い合わせください （**「8.保証とアフターサービス」**(P.21)**参照**）
ストッパー	作動・異音	●異物の有無・スムーズな作動を確認します ●ストッパーの正常な利きを確認します
フットサポート （オプション）	作動・異音	●異物の有無・スムーズな作動を確認します

5. お手入れのしかた

本製品は、より高い安全性と耐久性を追求して作られていますが、ご使用になる環境や条件、または長期間のご使用などによって変化することが考えられます。各部の正常機能等、定期的な点検を行なってください。

お手入れ方法

お手入れの場所	お手入れの種類	お手入れの方法
樹脂部・金属部	日常のお手入れ	●乾いた柔らかい布で、軽くふいてください ＊化学ぞうきんなどは、使用しないでください
	がんこな汚れ	1．台所用（中性）洗剤を薄めたぬるま湯に柔らかい布をひたし、固くしぼって拭き取ります 2．洗剤をよく揉みだして固くしぼったら、水ぶきして洗浄液を拭き取ります 3．柔らかい布で乾拭きし、自然乾燥させます
上張り地布部	日常のお手入れ	●乾いた柔らかい布で、軽くふいてください ＊化学ぞうきんなどは、使用しないでください
	がんこな汚れ	1．台所用（中性）洗剤を薄めたぬるま湯に柔らかい布をひたし、軽くしぼってから、表面をたたくように拭き取ります 2．洗剤をよく揉みだして固くしぼったら、水ぶきして洗浄液を拭き取ります 3．柔らかい布で乾拭きし、自然乾燥させます

⚠ 注意

●この製品は、室内・屋内用です。屋外での使用や水濡れは、故障やサビ・変色の原因になりますのでおやめください。また、水に濡れたまま放置しないでください。

●直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しい場所での使用は避けてください。変色や変形・樹脂部の割れなどの原因になります。

●化学ぞうきんや、アルコール・シンナー等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。サビや変色の原因になります。

ヒント

●年に一度は、本製品の本格的なお手入れをおすすめします。お気軽に販売店、またはイデアライフケアにご相談ください。

（「8．保証とアフターサービス」（P.21）参照）

整備点検カルテ

定期点検の結果を記録し、次回の点検時期や製品寿命の目安にお役立てください。

お買い上げ日（保証書に記載）		年　月　日								備考
製造番号（保証書・製品シールに記載）										
点検箇所	点検内容	点検時期（お買い上げ日から数えて）								
		1ヵ月	6ヵ月	1年	1年半	2年	2年半	3年	3年半	4年
フレーム	ネジのゆるみ・ガタ									
	変形・損傷・サビ									
ハンドルレバー	作動・異音									
座面	作動・裂傷・よごれ									
アームサポート	ゆるみ・ガタ									
座面ユニット	裂傷・よごれ									
キャスター	作動・異音									
ストッパー	作動・異音									
フットサポート（オプション）	作動・異音									

＊〇：異常なし、△：清掃／調整／修理、×：交換

点検実施の年月日および点検整備の記録

点検時期	点検実施日	点検内容（症状／部品交換の有無など）	担当者
購入時	年　月　日		
1ヶ月	年　月　日		
6ヶ月	年　月　日		
1年	年　月　日		
1年半	年　月　日		
2年	年　月　日		
2年半	年　月　日		
3年	年　月　日		
3年半	年　月　日		
4年	年　月　日		

6. 故障かな?と思ったら

乗助さんの調子が悪いときは、修理を依頼する前に、下表の項目をもう一度チェックしてみてください。

こんなときは…	ここをチェック	こう対処してください	参照ページ
乗助さんが動かない	ストッパーは解除されていますか？	●ストッパーを解除してください	8
移動するとき、購入時より重くなった	キャスターに髪の毛やひもが巻きついていませんか？	●キャスターの異物を取除いてください	14
ハンドルレバーが動かない ・ハンドルレバーが重い ・変な音がする	ハンドルレバーの可動部に異物はありませんか？	●異物を取除いてください	8、14
座面が動かない （変な音がする）	【座面の可動部】・【座面とフレームの間】に異物はありませんか？	●異物を取除いてください	8、14
座面ユニットが外れない	ハンドルレバーは、最後まで確実に操作されていますか？	●ハンドル押さえに押し当たるまでハンドルレバーを上げます	8
ストッパーが利かない	ストッパーに異物はありませんか？	●異物を取除いてください	8、14
乗助さんがフラフラして直進しない	キャスターのネジにゆるみはありませんか？	●キャスターの取付け・異物の有無を確認してください	14
乗助さんがグラグラする	各部のネジにゆるみはありませんか？	●各部のネジにゆるみがないか確認してください	14
背もたれがグラグラする	座面ユニットは確実にセットされていますか？	●座面ユニットを奥まで確実にセットしてください	2
フットサポート（オプション）の動きが悪い	フットサポートに異物はありませんか？	●異物を取除いてください	14
変な音がする（移動中）	キャスターに異物はありませんか？	●異物を取除いてください	14
座り心地が悪い	ハンドルレバー（座面）は水平位置まで下りていますか？	●ハンドルレバーをしっかり最後まで下ろします	8
	座面や背もたれが傷んでいませんか？	●別売りの交換部品をお買い求めください	18

●処置を実施しても異常がある場合は、むやみに分解・修理をせずに、お買い求めいただいた販売店、またはイデアライフケアにご相談ください。

●上記以外に不具合等がございましたら、お買い求めいただいた販売店、またはイデアライフケアにお問い合わせください。
不具合箇所により、調整費用がかかる場合がありますので、事前にご相談ください。
（**「8. 保証とアフターサービス」**（P.21）**参照**）

7. 仕様

項 目		仕 様
寸法・重量	全 幅	標準タイプ：５８５mm、ワイドタイプ：７１０mm
	奥 行	７９０mm
	全 高	８５３～９３３mm（最大下降～最大上昇）
	座面高	４５０～５３０mm（最大下降～最大上昇）
	座面高さ調整間隔	５段階（ピッチ２０mm）
	有効座面幅	４１０mm
	総重量（オプション除く）	16.5ｋｇ（本体 13ｋｇ／座面ユニット 3.5ｋｇ）
	最大使用者体重	１００ｋｇ
対応可能な ベッド・トイレ	ベッドフレームの高さ	９０mm以上（φ６０標準キャスター利用時） ７５mm以上（φ５０キャスター利用時）
	マットレス面・便座高	４８０mm以下
対応可能な 車いす等 （ワイドタイプ）	車いす	コンパクト型介助車いす （アームサポートはね上げ式）
	ポータブルトイレ	全幅５５０mm 以下（手摺り取外し可能な物）
対応可能な トイレスペース	便器と前面壁の間隔	６００mm以上
	間口	８００mm以上
材　質	フレーム部	鉄・アルミ（塗装・めっき処理）
	樹脂部	ＡＢＳ樹脂・ＰＥ樹脂・MCナイロン
	クッション材	ウレタン
	貼り布地	ＰＶＣレザー（防汚・抗菌・耐薬品）
その他	使用対象者	●歩行が困難でトイレまで移動したい使用者 ●端座位（ベッドの端に腰かけた状態）がとれる使用者
	使用環境	バリアフリー環境
	使用温度	＋５℃～＋４０℃
	消耗品 （ユニット販売品）	●座面単体 ●座面ユニット ●キャスター
	オプション品	●フロント補助バー ●フットサポート

*製品の仕様・外観・価格は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

*オプション品・消耗品のご購入は、お買い求めいただいた販売店、またはイデアライフケアにお問い合わせください。（**「8. 保証とアフターサービス」**（P.21）**参照**）

*この製品は、特許取得、意匠登録製品です。

*この製品は、日本国内での使用を想定しています。日本国外へ持ち出してのご使用はおやめください。

8. 保証とアフターサービス

保証の概要

●この製品には、別紙、保証書がついています。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間は、ご購入日から起算して１年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店またはイデアライフケアまでご連絡ください。なお、修理の際は、以下のことをお伝えください。

①お名前・ご住所・お電話番号
②お買い上げ日（保証書に記載してございます）
③製造番号・故障内容・異常の状態（できるだけ詳しくお知らせください）

●保証期間後の修理については、お買い上げの販売店もしくはイデアライフケアにお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。

●修理を依頼される前に「６．故障かな？と思ったら」の項目に基づいてお調べいただき、それでも改善されないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店またはイデアライフケアに修理をご依頼ください。

（**「６．故障かな？と思ったら」**（P.19）**参照**）

アフターサービス（お客様窓口）

イデアライフケア

本社	〒394-0004 長野県岡谷市神明町四丁目１番２１号 TEL 0266-24-3377（代） FAX 0266-24-2773 ●受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝日・弊社休暇を除く） URL ：http://www.idea-gr.co.jp/ E-mail ：info@idea-gr.co.jp

＊レンタル業者様におかれましては、定期的な点検・整備を実施していただきますよう、よろしくお願いいたします。

■取扱店記入欄

イデアグループ
製造元　イデアシステム株式会社
販売元　イデアライフケア株式会社
〒394-0004 長野県岡谷市神明町四丁目１番２１号
ＴＥＬ：０２６６-２４-３３７７（代）
ＦＡＸ：０２６６-２４-２７７３
ＵＲＬ：http://www.idea-gr.co.jp/
E-mail：info@idea-gr.co.jp

0289-S1001Rev1(2012.02.07)